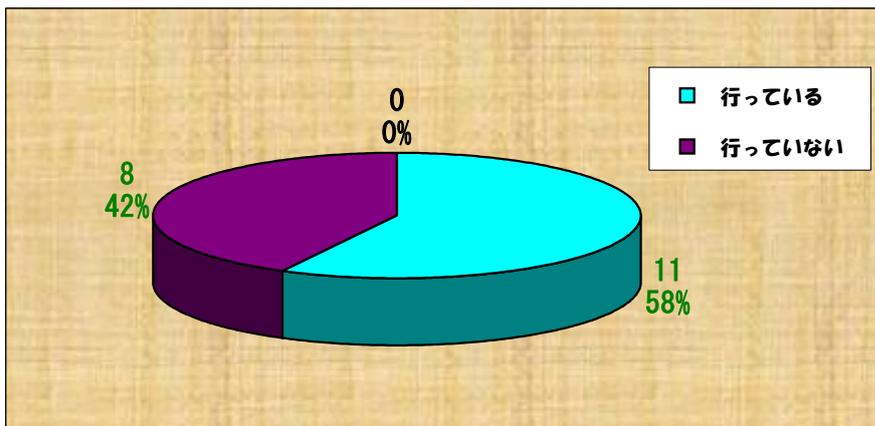


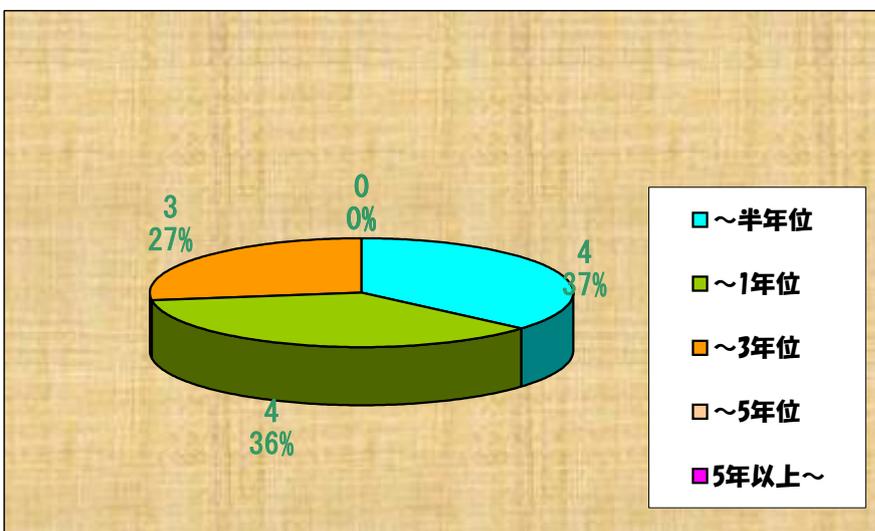
Q1 あなたは、現在、PEGの看護・管理を行っていますか？

選択肢	回答数
行っている	11
行っていない	8



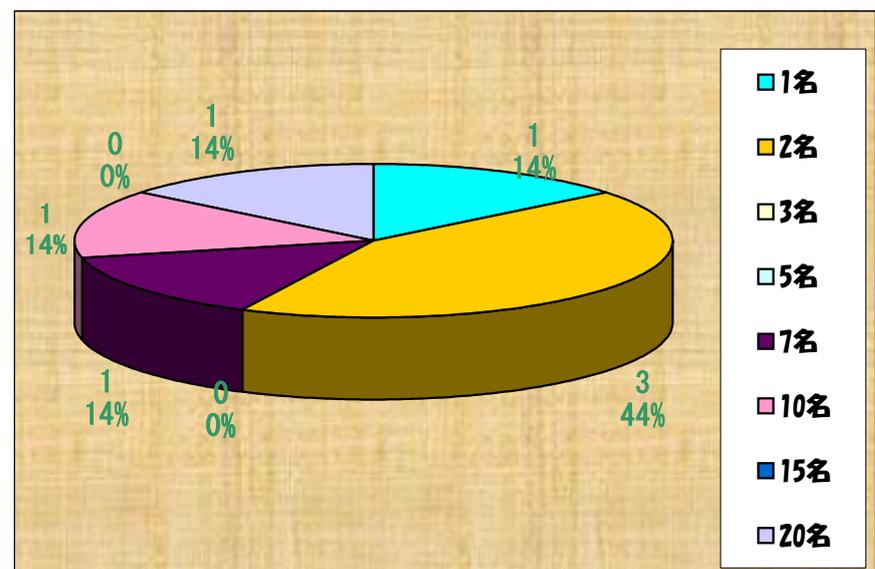
Q2 PEGの看護を行うようになってから何年になりますか？

選択肢	回答数
～半年位	4
～1年位	4
～3年位	3
～5年位	0
5年以上～	0

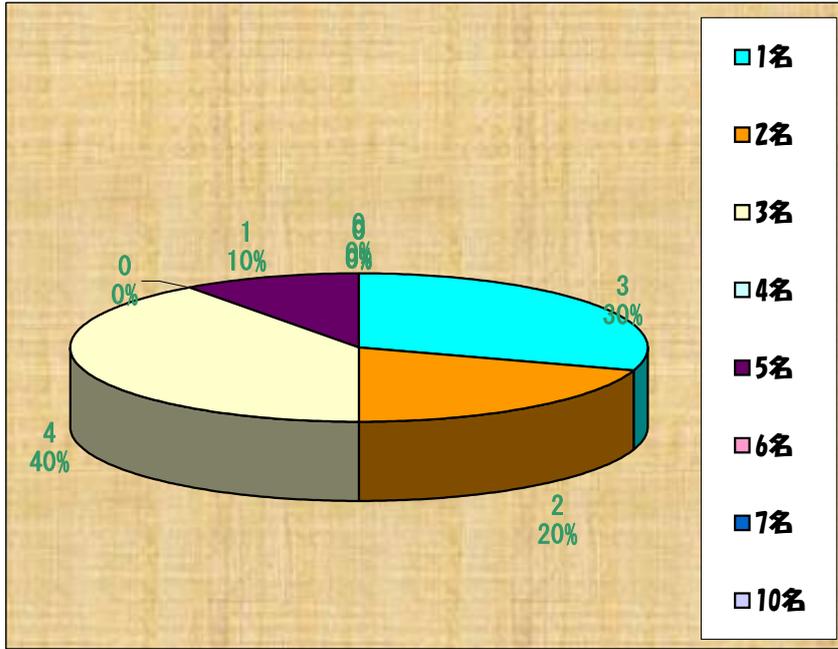


Q3 現在胃ろうを入れられた患者様は御施設に何人いらっしゃいますか？

回答	人数	いる施設内訳	回答数
いる	7	1名	1
いない	3	2名	3
		3名	0
		5名	0
		7名	1
		10名	1
		15名	0
		20名	1

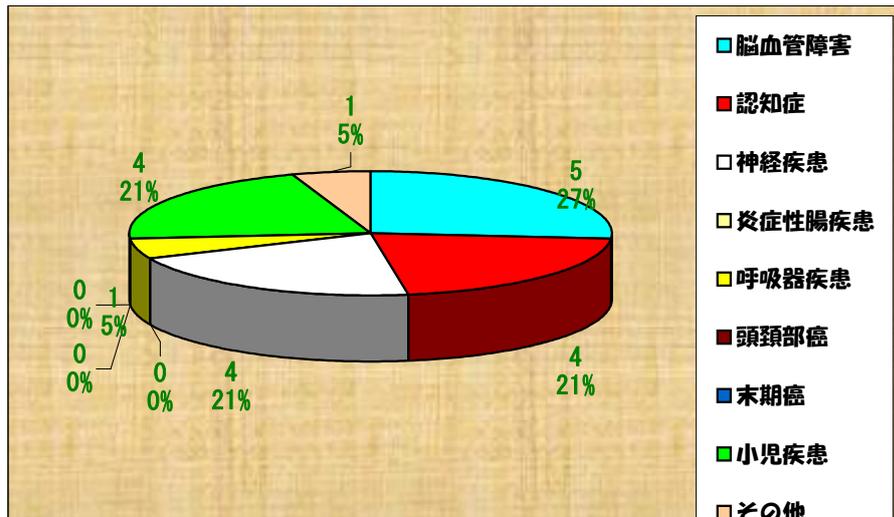


Q4 経鼻的栄養チューブを入れられた患者様は御施設に何人いらっしゃいますか？



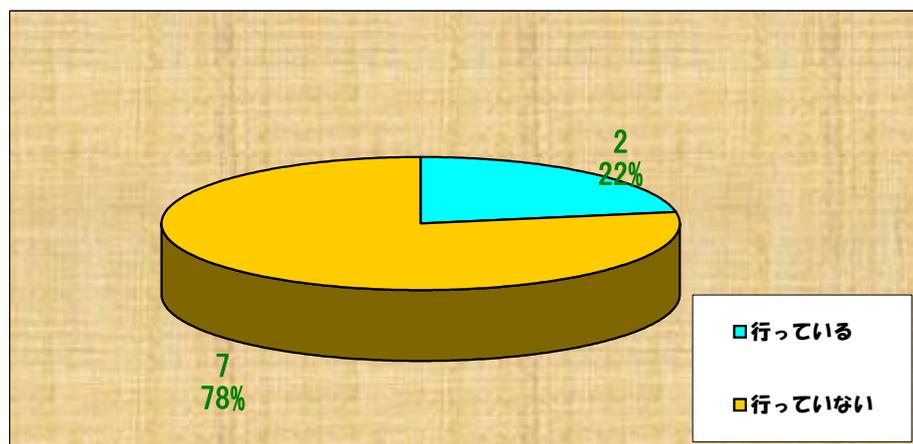
回答	人数	施設内訳	回答数
いる	10	1名	3
いない	0	2名	2
		3名	4
		4名	0
		5名	1
		6名	0
		7名	0
		10名	0

Q5 胃ろうを入れられた患者様の原疾患は何ですか？



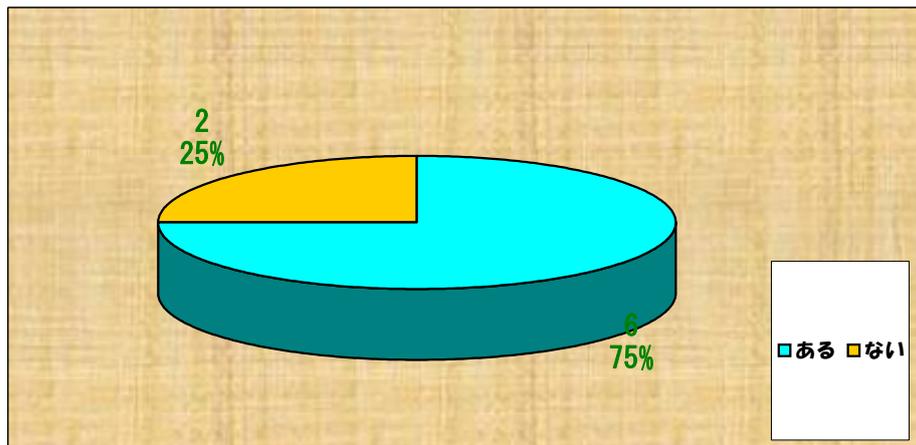
選択肢	回答数
脳血管障害	5
認知症	4
神経疾患	4
炎症性腸疾患	0
呼吸器疾患	1
頭頸部癌	0
末期癌	0
小児疾患	4
その他	1
その他内訳 (心疾患)	1

Q6 御施設ではPEGの訪問看護を行っていますか？



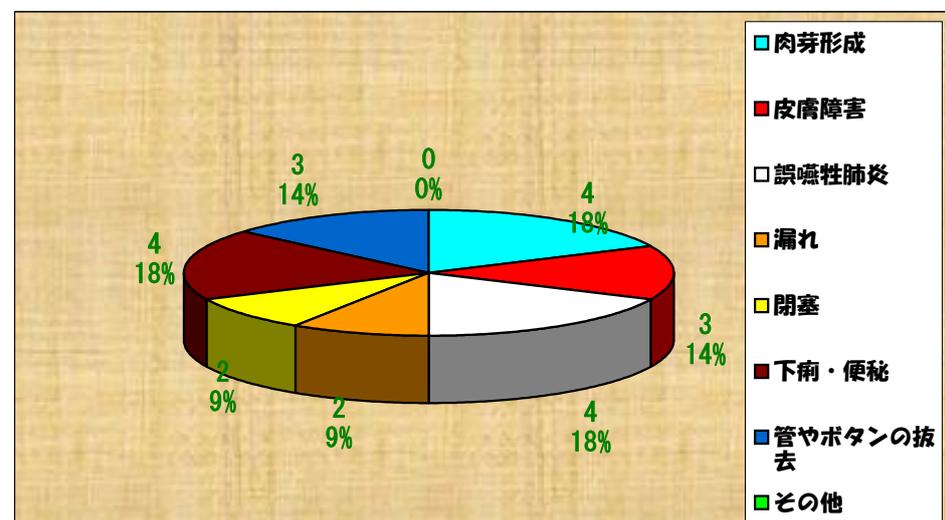
選択肢	回答数
行っている	2
行っていない	7

Q7 看護・管理の中で、トラブルにあったことがありますか？



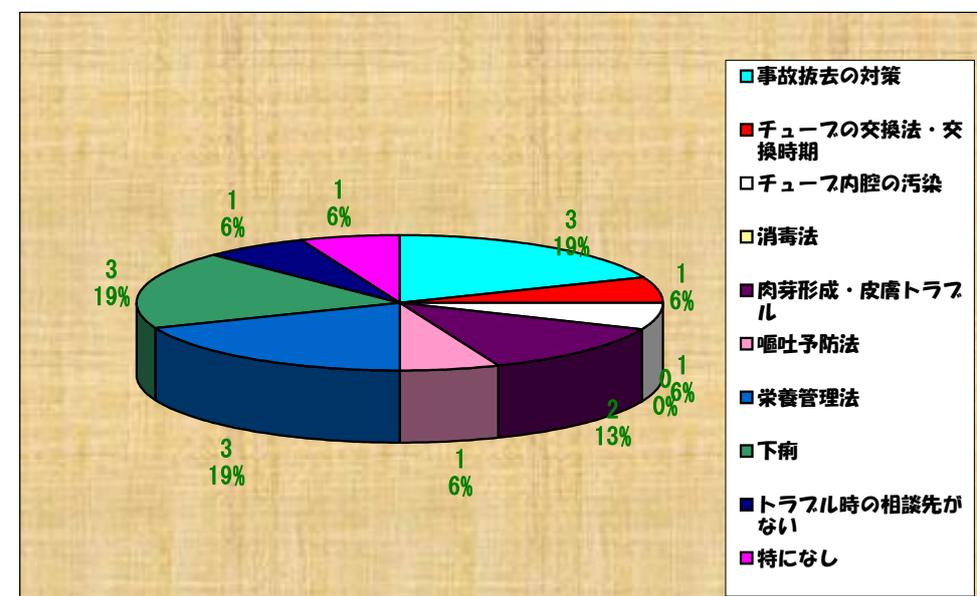
選択肢	回答数
ある	6
ない	2

Q8 どんなトラブルでしたか？(いくつでも)



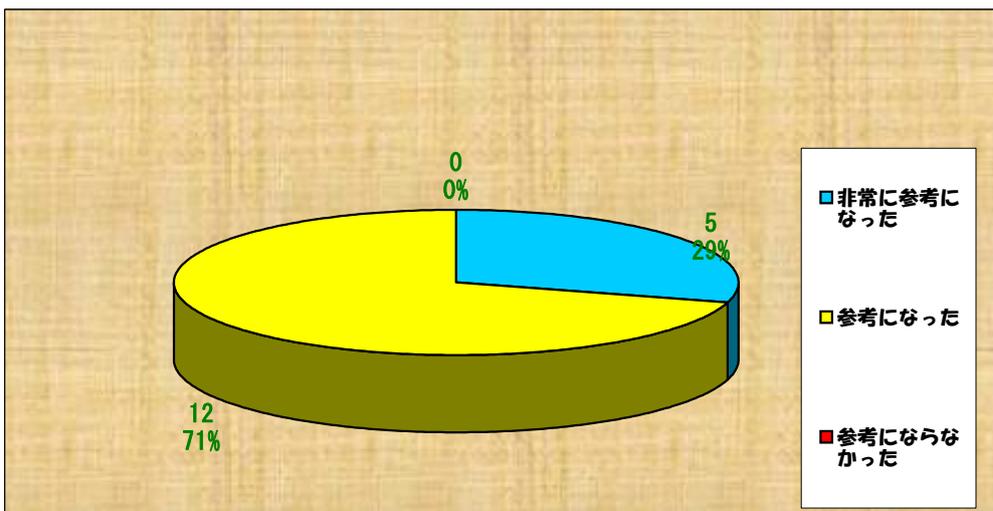
選択肢	回答数
肉芽形成	4
皮膚障害	3
誤嚥性肺炎	4
漏れ	2
閉塞	2
下痢・便秘	4
管やボタンの抜去	3
その他	0

Q9 看護・管理の中で、いま悩んでいるものはどれですか？(いくつでも)



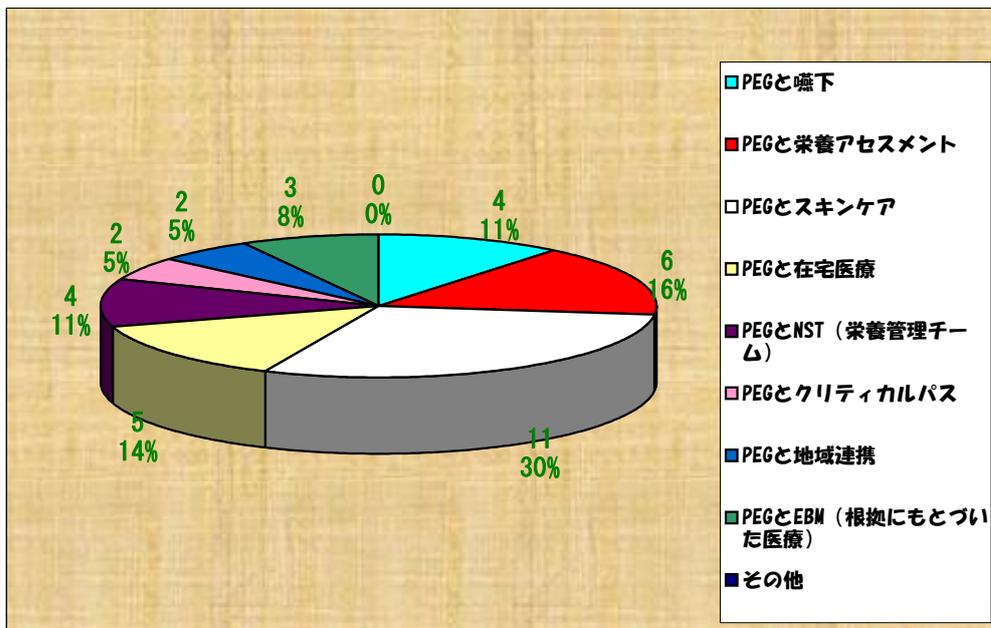
選択肢	回答数
事故抜去の対策	3
チューブの交換法・交換時期	1
チューブ内腔の汚染	1
消毒法	0
肉芽形成・皮膚トラブル	2
嘔吐予防法	1
栄養管理法	3
下痢	3
トラブル時の相談先がない	1
特になし	1

Q10 今日のセミナーは参考になりましたか？



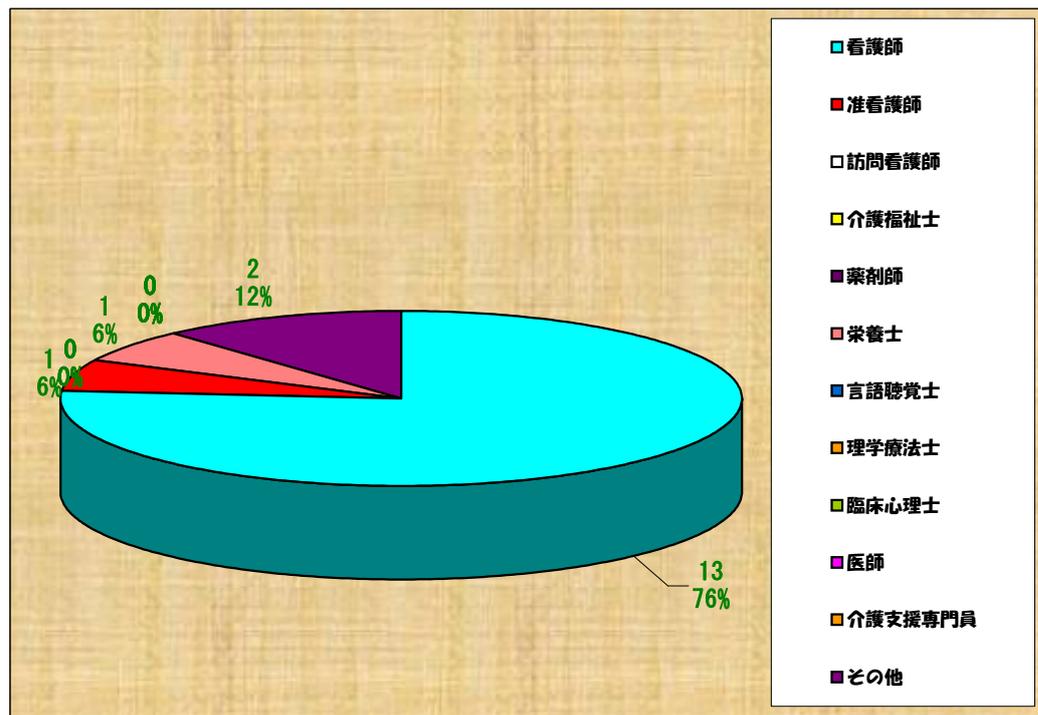
選択肢	回答数
非常に参考になった	5
参考になった	12
参考にならなかった	0

Q11 今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか？(いくつでも)



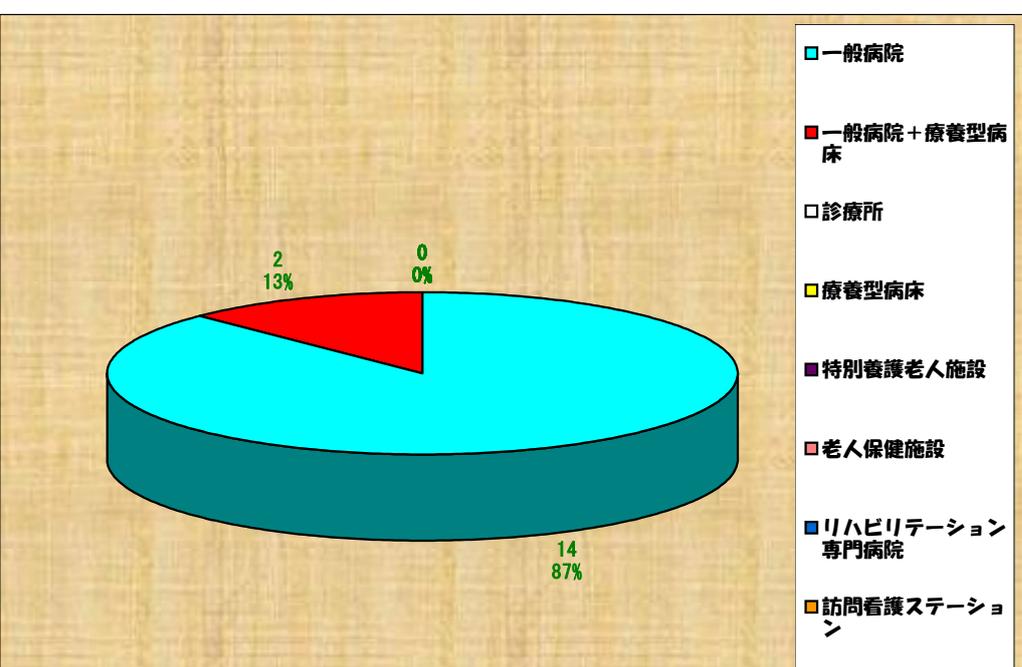
選択肢	回答数
PEGと嚥下	4
PEGと栄養アセスメント	6
PEGとスキンケア	11
PEGと在宅医療	5
PEGとNST (栄養管理チーム)	4
PEGとクリティカルパス	2
PEGと地域連携	2
PEGとEBM (根拠にもとづいた医療)	3
その他	0

Q12 あなたは次のどれにあたりますか？



選択肢	回答数
看護師	13
准看護師	1
訪問看護師	0
介護福祉士	0
薬剤師	0
栄養士	1
言語聴覚士	0
理学療法士	0
臨床心理士	0
医師	0
介護支援専門員	0
その他	2
その他(内訳)	
検査技師	1
内視鏡技師	1

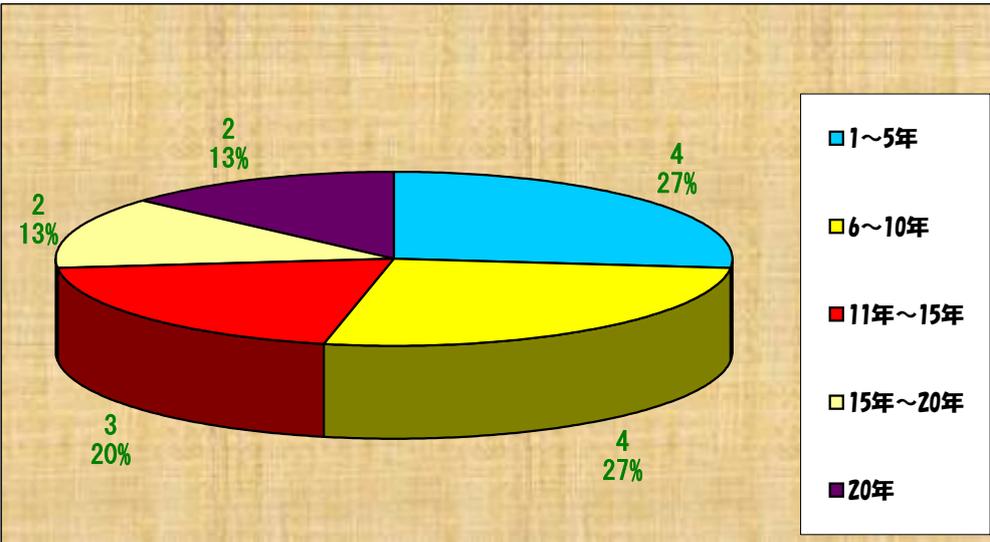
Q13 あなたの所属先は？



選択肢	回答数
一般病院	14
一般病院+療養型病床	2
診療所	0
療養型病床	0
特別養護老人施設	0
老人保健施設	0
リハビリテーション専門病院	0
訪問看護ステーション	0
居宅支援事業所	0
その他	0

Q14 あなたの職歴年数は？

選択肢	回答数
1～5年	4
6～10年	4
11年～15年	3
15年～20年	2
20年	2



Q15 PEGの正しい理解のためにはどのようなことが解決されなければならないとお考えですか？ どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をおきかせください。

- ・実際に胃ろうに関わっているいる医師がこのようなセミナーに参加すること。
- ・在宅でのトラブル解決方法
- ・PEGに関わるスタッフ全員が共通の認識をもつ事が大切であり、栄養の補給の道を確認するという大切な役目がある。

Q16 今後取り上げてほしい題材がありましたらご記入ください。

特になし